

公開タグ	心臓リハ関連	心臓リハ関連
タイトル	日本クリティカルケア看護学会によるCOVID-19 重症患者看護実践ガイド	COVID-19重症患者に対する人工呼吸管理に関する注意点（第2報）今、知っておきたいこと
主に該当する病期	病期を問わず	急性期
概要	<p>1.感染防御（1-1.個人防護具）</p> <p>2.呼吸のサポート（2-1. 酸素療法、2-2. NPPV(非侵襲的陽圧換気)と HFNC(高流量鼻カニューラ酸素療法)、2-3. 気管挿管、2-4. 人工呼吸器の回路、2-5. 気管吸引、2-6. 人工呼吸器の設定、2-7. 腹臥位、2-8. 抜管）</p> <p>3. 院内での患者移送</p> <p>4. 感染を防ぐための器具の取り扱い、リネンや廃棄物、汚染物の廃棄（4-1. 環境整備、4-2. 機器の消毒、4-3. リネン、4-4. 廃棄物、4-5. 検体）</p> <p>5. 面会制限（5-1. 面会制限への対応、5-2. COVID-19 患者への面会、5-3. 持ち込ませないための面会制限）</p> <p>6. 重症者のトリアージについての考え方</p> <p>7. 終末期ケア（7-1. 終末期にできること、7-2. 臨死時の家族の立ち会い、7-3. エンゼルケアへの家族の参加、7-4. 終末期ケアの実践が困難な状況を予測した事前の対応）</p>	<p>日本COVID-19対策ECMOnet（日本集中治療医学会・日本救急医学会・日本呼吸療法医学会）作成。18枚のスライドで構成。</p> <p>以下主な項目を記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報は非常に限られている ・COVID-19肺炎：タイプL ・移行期：タイプLからタイプHへ ・COVID-19肺炎：タイプH ・呼吸管理法；タイプLとタイプHでは異なる ・Corona virusと肺 ・コロナウイルスが細胞に入るステップ ・ACE 2 の役割、議論のある部分、ACEと臓器保護 ・Neurotropism：神経親和性 ・診療上の情報として求めている？
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<p>・看護師の視点は理学療法士にも共有できる。感染対策・対応として、急性期からターミナル期までの病期や、ベッドからトイレなどの生活場面も抑えており、医療者からの視点だけではなく患者家族に対する配慮も記載されている</p>	<p>・呼吸理学療法：病態のタイプ、タイプに合わせた呼吸管理法が記載されており、今後の理学療法への活用が考えられる</p>
リソースのリンク	https://www.jaccn.jp/guide/index.html	https://www.jaam.jp/info/2020/files/info-20200420_2.pdf
QRコード	 <p>https://www.jaccn.jp/guide/index.html</p>	 <p>https://www.jaam.jp/info/2020/files/info-20200420_2.pdf</p>
公開日	2020/4/12	2020/4/18

公開タグ	心臓リハ関連	心臓リハ関連
タイトル	COVID-19肺炎重症例の治療経験～救命のためにすべきこと～	ICUにおけるCOVID-19患者に対する看護Q&A
主に該当する病期	急性期	急性期
概要	<p>一般社団法人日本感染症学会。原田裕子，他による症例報告。 次の2症例が提示されている。 症例1：84歳、男性。高ウイルス量のRNAが検出された重症呼吸不全症例。ARDSまたは間質性肺炎への進展が疑われた 症例2：70歳、女性。二次感染が疑われた症例</p>	<p>一般社団法人日本集中治療医学会COVID-19対策看護チーム作成。 臨床でよく聞かれるCOVID-19患者の看護に関する疑問のうち、一部をチームでまとめたもの。24のQ&Aからなる。以下主な項目。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策：Q1.~5.18.19. ・呼吸管理：Q6.~10. ・鎮痛・鎮静：Q13. ・栄養管理：Q14. ・口腔ケア：Q15. ・ECMO：Q16. ・家族ケア：Q17. ・患者管理：Q20. ・スタッフ教育：Q21. ・環境：Q22. ・心のケア：Q23.~24.
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<p>・リスク管理（合併症）：初期症状として呼吸症状が強くないこと、数日経過するごとに病状が変化すること、特に高齢者や慢性心不全患者において心不全の合併への注意喚起がなされている</p>	<p>・スタッフ教育：COVID-19患者を受け入れる際の、スタッフ教育、体調管理、ストレスマネジメントについて具体的でわかりやすく記載されている。他の項目も理学療法に関連している</p>
リソースのリンク	http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200423_2.pdf	https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19_nursing_Q&A.pdf
QRコード	 <p>http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_casereport_200423_2.pdf</p>	 <p>https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19_nursing_Q&A.pdf</p>
公開日	2020/4/23	2020/4/24

公開タグ	心臓リハ関連
タイトル	暫定的ガイドランス:新型コロナウイルス感染症が疑われる重症急性呼吸器感染症の臨床的マネジメント 何をすべきか、何をすべきでないか
主に該当する病期	急性期
概要	WHOに基づくSARIの国内報告。 SARIの特徴や治療を分かり易く提示した報告である。
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	・リスク管理：SARIを理解し、COVID-19疑いの特徴及び感染防止のために重要な情報である。また、敗血症及びARDSの病態把握のため貴重な情報である
リソースのリンク	http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/1308_coronavirus_who_j.pdf
QRコード	 <p>http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/1308_coronavirus_who_j.pdf</p>
公開日	